

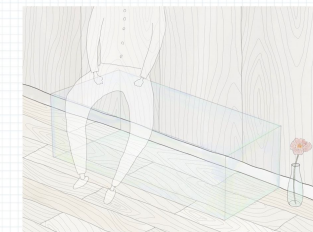
# 硝子の家史

日焼けや傷により経年変化する家。社会の変容や個人の成長によって変化する人の暮らし。これから始まる長い暮らしの中で度々起こる大きな生活の変化に対応し、その一コマ一コマの大切な思い出を記憶するために元の家の姿を破壊しない、ガラスを用いた増改築を行なっていく。

ガラスを用いた増改築により経年変化から守られた家の一部分はその当時の物質的な風合いと精神的な出来事を写真のように記憶する。

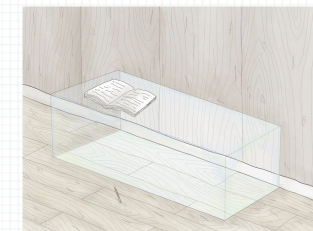
いつの日か、一コマ一コマ大切に紡がれたガラスによる記憶が家の中を満たし、重要なことでパラパラ漫画のように今までの家と暮らしの歴史を物質的、精神的な映像として映し出す。

## ◇経年変化と出来事を記憶するガラスによる増改築



家に新たな機能が欲しくなった時、高強度かつ紫外線を防ぐ透明度の高いガラスを用いて増改築を行う。

ガラスを用いる事で元の家の姿を壊さず、増改築当時の姿を残したまま新たな機能を付加する。



ガラスに覆われた家の一部分は紫外線や微生物などによる化学的変化、傷などの物理的変化といった「経年変化」から守られる。

増改築に至った暮らしの中での出来事、その時の家の風合いが保存される。



ガラスに覆われていない場所は経年変化が進み、時の経過を教えてくれる。

写真のように当時の記憶が保存されたガラスはあの日の出来事を鮮明に思い出させてくれる。

2  
0  
2  
2

念願の自分の家。

すべてつるつるピカピカで新しい空間。

一人暮らし、ここでどんな暮らしを始めようか。

2  
0  
3  
0

二人暮らしを始めることになった。

パートナーが外に出て自然を体感できるテラスが欲しいと言っていたから元々あった窓から外に出られるようにガラスのテラスを作成した。

地面がガラス越しに見えて宙に浮いているようだ。

2  
0  
3  
5

子どもがやってきて3人での暮らしが始まった。

ガラスで小さなロフトを作り、そこを子どもの遊び場と部屋にした。

立っているときちょうど子どもがロフトの下で遊んでいる様子が見え、繋がりをを感じる。

2  
0  
6  
0

子どもが自立し、仕事も辞め、新たな人生が始まる。

新しく趣味を始めようと思い、物がたくさん置ける造作家具を作成した。

ガラスの造作家具の裏には子どもがつけた傷や落書きが透けて見える。

2  
0  
9  
0

歳も取りこの家に一人で暮らすことになった。

家の中には当時の家の風合いと共に様々な思い出がガラスによって記憶されている。ガラスにより保存された豊かな記憶が家の中に溢れる。

この家での思い出が一つ一つ紡がれ、映像のように頭の中でこれまでの暮らしが映し出される。

